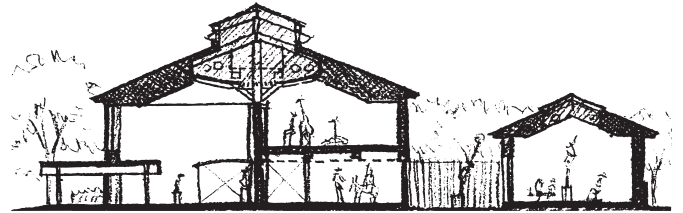




# 淀井敏夫記念館

美術館だより・友の会だより

2011/12  
第38号



淀井敏夫作「彫刻家の像」(1947)/ブロンズ/28×21.5×24.5cm

## 「彫刻家の像」

自刻像である。画家による自画像は多いが彫刻家による自刻像は極めて少ない。戦争が終わって間もない、何もない時代、奇跡的に空襲を免れたアトリエで「つくるものがないなら自分をつくってみよう」と制作した作品。晩年になって「やはり自刻像は難しい。鏡を使うと左右反対になるし、文字通り手探りで試みだった。」と振り返っている。

2011年は淀井先生が生誕100年を迎えました。あさご芸術の森美術館での2回の企画展をはじめ、豊岡市で1回、神戸市で2回の特別展を通して彫刻家、淀井敏夫の功績を顕彰しました。